

議会だより

バトンでつなぐ住民パワー



6月2日 各地区で運動会
(遊佐小グラウンド)

5月定例会

遊佐高校生を全国から募集 (元年度補正予算)	P. 2
町政を問う 一般質問 4人登壇	P. 4
定例会議案の審議結果・傍聴者数	P. 6
議員報酬を改訂	P. 7
議会クイズ・編集室より	P. 8

遊佐高校生を全国から募集 地域みらい留学プレゼンに参加

令和元年度遊佐高校1年生は18名。来年度20名を下回ると生徒の応募ができなくなる。遊佐の自然を生かし、全国から高校生を募る取り組みが「地域みらい留学」制度。遊佐高校の魅力を上げることで、地元の志願者も増やしたい。

8800万円追加し

総額84億7000万円に

補正のポイント

農道舗装

蕨岡・遊佐・北部ブロックの農道舗装整備 **3325万円**

除雪対策

除雪機更新 11トン級 1台 **2500万円**

遊佐高校生を全国から募集

東京・名古屋・大阪・福岡4会場「地域みらい留学」プレゼンに **278万円**

農業担い手支援

大根収穫機・稲コンバインに30%補助 **815万円**

予防接種

風しんワクチン接種など **253万円**

令和元年度 補正予算質疑
補正予算審査特別委員会

5月24日
委員長 松永 裕美
副委員長 筒井 義昭

予算審査 一般質問 補正予算審査 採決結果 報酬改訂

地域支え合いの場づくりについて

菅原 和幸 委員

問 地域支え合い体制づくり事業は、高齢者の居場所づくりと活動の場につながるかと考える。

老人クラブ結成が事業要件となっているが、町内でのクラブ結成状況と、これまで事業を利用した集落数は。

健康福祉課長

答 平成30年度末現在、町の老人クラブ結成数は76団体である。

地域支え合い体制づくり事業は、23年度から30年度まで、町内108集落のうち88集落が実施しており、補助総額は約7000万円である。今回の補正を加え、令和元年度は5集落を予定しており、完了すれば実施率は84%を超えるものと見込んでいる。

モニターツアー 冬季も

齋藤 武 委員

問 台湾から旅行者者を介したプロガーなどを招いての「環鳥海モニターツアー」が計画されている。

夏季の実施が予定されているが、冬季等の実施も検討すべきではないか。企画課長

答 この事業は、環鳥海の4市町が共同で国の東北観光復興対策交付金を活用した事業実施を申請し、事業採択されたものである。

冬季の観光誘客は環鳥海地域にとって大きな課題と認識している。こうしたモニターツアー



多言語で環鳥海を紹介

ーを冬期間に開催することとは意義あることと思うので、鳥海国定公園観光開発協議会などの場で関係者と協議したい。

風しん予防接種を

土門 勝子 委員

問 国内で風しん感染者が増加している。町においても、風しん5期定期予防接種委託料が補正計上されている。

予防接種記録のない人が対象と思われるが、どのような内容なのか。

健康福祉課長

答 今年度の対象者は、公的な接種を受ける機会がなかった昭和47年4月

健康福祉課長

2日から54年4月1日までに生まれた男性で、年齢では40歳から47歳まで、合わせて564人を予定している。

対象者にはクーポン券をお届けするので、まず抗体検査を受けていただき、結果によって予防接種を受けることになる。

風しん予防接種 誰でもできるのか

阿部 満吉 委員

風しん予防接種は全ての年代が対象か。

風しんは感染力が強いだけでなく、大人になると重症化し、妊娠中の胎児にも影響がおよぶ。

抗体を持たないおそれがあれば接種漏れを防ぎたい。

今後も町民生活保持に万難を排して取り組んでいきたい。

地域生活課長

町では18台の除雪機械を保有している。今回更新する除雪機械は、今年1月下旬、稼働不能となり修繕費に多額の費用を必要とすることから更新するものである。更新の目安は、概ね20年としており、当該除雪機械は19年使用した。

除雪機械の使用態勢については、雪が深い路線や吹き溜まりが多く発生する箇所などを見定めトン級別に路線配置をしている。

除雪ドーザーの更新は

佐藤 智則 委員

更新するのは11トン級であり、3種類のドーザーがあると聞く。どんな使用態勢で稼働しているのか。更新するにあたり、目安はあるのか。

らの志願者獲得活動を複合的に展開すべきである。

教育長

町としては新たな支援制度での取り組みであり、都市部でのプレゼンについても初めての試みである。結果がどうなるかわからないが、高校と地域、行政が連携して、この学校の存続に向けて力を尽くしていきたい。

生徒は、より積極的に地元での活躍の場を広げており、しっかりと支援をしながら志願者獲得につなげていきたい。

遊佐高校の県外生徒 募集は

高橋 冠治 委員

町は遊佐高校に「遊佐町自然体験型留学支援制度」を設け来年度に向けた生徒募集を計画している。

6月に開催される4大都市圏で行う「地域みらい留学フェスタ2019」に参加予定だが、その内容は

教育課長

大阪、福岡、東京、名古屋の各会場で全国から県外留学生を募集する参加校がブースを開設してプレゼンを行う。

こちらからの参加者は、遊佐高校支援の会、コーディネーター、生徒や卒業生と教員からなる6名ずつを予定している。

このフェスタを訪れた親子に7月下旬に行われる学校説明会等の案内をする内容である。

この事業で大根収穫

強い農業・担い手づくり支援事業

斎藤弥志夫 委員

この事業で大根収穫

機や6条刈コンバインが購入申請されているが、補助率は30%ほどである。事業に該当する要件はどのようなものか。

産業課長

この事業は、農水省の位置付ける「適切な人・農地プラン」を作成した地域の中心経営体に対して、農業機械・施設等の導入を支援するものである。

採択要件としては、必須項目である農業所得の増大と併せて、関連項目として経営面積の拡大、農産物の価値向上など6項目の中から一つ目標を設定し、達成する必要がある。



8トン・11トン・13トン級を所有 (写真は11トン級)



地域みらい留学プレゼンパンフレット

一般質問通告の要旨

◎=記事掲載あり ○=記事掲載なし
(通告順)

松永 裕美 議員 ……P4

- ◎クアオルト遊佐の提案と鳥海山観光イベント
- 新庁舎建設庁舎内における標識(サイン)の提案

齋藤 武 議員 ……P5

- ◎小学校の統合 議論は深まっているのか

菅原 和幸 議員 ……P5

- ◎令和元年度の主要施策

筒井 義昭 議員 ……P6

- ◎人口減少が進む中での、町存続と町民の福祉向上に関する、町の考えは



校舎正面に花を植栽(遊佐小学校)

町の緩和や予防のため、森林等の自然環境の中で保養するドイツ発祥の気候療法が各地で広がっている。

県内でも上山市で「クアオルト」と呼ばれる保養地をつくり、森林浴やウォーキング等を開催し市民の健康促進による医療費削減も担っている。

町に自生している植物や山野草を眺めながら、学びながら歩くコースも含め、町でも可能な施策であると考えるが。



松永 裕美 議員



町の資源を活用する
視点は大切

クアオルト遊佐の提案



人を魅了する遊佐の自然(二ノ滝)

ただ、既存の取り組みだけに依存することなく町の資源を活用した様々なアイデアを出し合い、時代に合わせた取り組みを模索していきたい。

※クアオルト(ドイツ語)

自然資源・野草等を生かして病の緩和や予防のため、森林等の自然環境の中で保養し健康増進につなげていく最新の取り組みのこと。

一般質問

4議員登壇

5月23日

町の事業と課題を問う!

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めめるために行います。

予算審査

一般質問

補正予算審査

採決結果

報酬改訂

小学校の統合 もっと議論を深めよ



藤 齋 議員
武 議員
教育長

今後は準備委員会で
議論を深める

問 教育委員会が4年後に町立小学校を1校に統合する方針を定めたが、議論は足りているのか。
人口減少社会で地域の小学校の重要度は増している。統合は移住定住促進策や遊佐高存続運動と



「適正」な整備が求められる

検討が十分ではない。強引な統合は地域の分断と活力低下を招く。結論ありきではなく議論を深め、時間をかけ合意形成を図るべきだ。

教育長 遊佐町立学校適正整備審議会に諮問して以来、11回の審議会が開催され、町民への説明会や保護者を対象にしたアンケート調査が2回実施されるなど、小学生以下の保護者の意見も十分反映するよう努めてきた。

教育委員会としても、答申内容やアンケート結果を尊重しながら基本方針を決定し公表した。

統合と移住定住施策や遊佐高校への支援策とは矛盾逆行しているように思われるのかもしれないが、これらとは互いに影響し合いながら、町をより良い方向に導くための施策であると考えている。町や国の将来を担う子どもたちの学びの環境を望ましい方向に整えるべく、今後は準備委員会で議論を深めていく。



自転車で標高1150mまでかけ上げる
(鳥海山シートゥーサミット)

ゆぎの自然を 自転車で体感しては



菅原 和幸 議員
町長

サイクリングステーション
遊佐P A Tを基地に検討

問 日沿道の開通にあわせ、町が重要プロジェクトのひとつとして計画する「遊佐町パークングエリアタウン(遊佐P A T)」について、基本計画では、令和元年度中の共用開始を目指し進めて

れば、着地型観光にも繋がるのではないかと。遊佐P A T着工までの時間を活かし、道路整備計画等に、県事業や観光施策を反映すべきと考えるが。

町長 自転車活用推進法の施行を受け山形県において現在「山形県自転車活用推進計画」をこの夏を目途に策定中である。

町には、丸池様や小山崎遺跡・永泉寺など、サイクルツーリズムに適した魅力的な地域資源を数多く保有している。

遊佐P A T計画については、日沿道の進捗に合わせ今後計画を詰めていくが、遊佐P A Tを基地とし、サイクリングステーションの整備やサイクリングルートの設定なども検討していきたい。

現在休止となっている「県道菅原直世下野沢線」も観光地への重要なアクセス道路となることから、早期の着工について、地元期成同盟会と共に県に要望をしていきたい。

人・土地・むらの 空洞化対策を



筒井 義昭
議員

町長
支え合い
組織づくりを支援

問 町の人口は12年間の間に1万6853人から1万3853人へと3000人減少している。また世代的年齢階層においては、年少人口・生産年齢人口の構成比は減少し、高齢人口が増加傾向にある。

これらの状況により、人・土地・むら（集落）の空洞化が進むことが危惧されている。

集落の存続、地区の存続のためにも、基礎的生活（買い物・通院）困難者を地域の人が支え合う体制づくりや、地域の食



時短料理講習会（エプロンサービス研修会より）

この取り組みはまさに、地域で取り組む生活支援のモデルとなり得るといっても過言ではなく、全町的な広がりを持っています。

住民同士の支え合い組織づくりでは、町でも支援している西遊佐地区のエプロンサービスが平成29年10月からスタートし、1年半ほど経過したが、これまですでに十数件の視察が訪れたと聞いている。

や伝統を継承することが出来る、小さな拠点づくり創出への取り組みが求められているのではないかと。

町長 町全体の空洞化に關しては、今年3月に「遊佐町空き家対策計画」を策定し、適正に管理されていない空き家の所有者への指導や管理の呼びかけ、空き家バンクによる空き家の利活用、空き家を店舗等にリフォームして地域活性化につなげる、空き家再生地域おこし事業に取り組んでいる。

町長 町全体の空洞化に關しては、今年3月に「遊佐町空き家対策計画」を策定し、適正に管理されていない空き家の所有者への指導や管理の呼びかけ、空き家バンクによる空き家の利活用、空き家を店舗等にリフォームして地域活性化につなげる、空き家再生地域おこし事業に取り組んでいる。

5月定例会の議案結果（元年度一般会計補正予算他、10件）

議案番号	議案名	内容	審議結果
議第37号	30年度遊佐町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認	国の交付金等を各基金に積立てるもの	全員賛成で承認
議第38号	遊佐町税条例等の一部を改正する専決処分の承認	地方税法等の改正による条例の改正	全員賛成で承認
議第39号	遊佐町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分の承認	地方税法等の改正による条例の改正	全員賛成で承認
議第40号	遊佐町都市計画税条例の一部を改正する専決処分の承認	地方税法等の改正による条例の改正	全員賛成で承認
議第41号	元年度遊佐町一般会計補正予算(第1号)	農道舗装整備・風しん予防接種等で8800万円を増額 P2~3に關連記事	全員賛成で可決
議第42号	元年度遊佐町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	下水処理場の修理で40万円を増額	全員賛成で可決
議第43号	遊佐町税条例等の一部を改正	地方税法等の改正による条例の改正	全員賛成で可決
議第44号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正	議会議員の報酬を改訂 P7に關連記事	全員賛成で可決
議第45号	遊佐町介護保険条例の一部を改正	介護保険法の改正によるもの	全員賛成で可決
議第46号	30年度除雪機械格納庫新築工事請負契約の締結	スクールバス車庫北側に新築契約金額1億5400万円	全員賛成で可決
発議第2号	議員派遣について	遊佐町議会会議規則第129条の規定による	全員賛成で可決

◎ 5月定例会の傍聴者数

(単位:人)

日程	内容	男	女	計
5月23日(木)	本会議・一般質問	6	6	12
5月24日(金)	補正予算審査特別委員会・本会議	4	1	5
計		10	7	17

「平成」の年号を省略しています。

議員報酬を改訂しました

議会では23年度から議員活動の活性化を課題として検討するとともに、27年7月から任期の議員定数を14名から12名に改訂している。

議員報酬については29年9月より議論を重ね、30年3月に報酬を24万円が望ましいとして、町長に報酬等審議会の開催を求めてきた。

31年4月に審議会の答申を受け改訂、月額1万5000円引き上げる、今回の報酬改訂となった。令和元年7月より適用される。

報酬等審議会の答申を受け改訂 ()内は県町村議会平均

月額報酬を	議長	30万8000円	(31万3500円)
	副議長	25万3000円	(25万5364円)
	議員	23万円	(23万7091円)



これまで

8年に22万円(議員)と制定されたが、15年に庄内北部合併離脱から、町の自治体財政健全化方針を受け5000円減額し、議長：29万3000円、副議長：23万8000円、議員：21万5000円とし、現在に至っている。

なぜ改訂が必要か…

- ・定数を12名に減らしたことで、常任委員会の調査、審査事項が多くなり、議員負担が増えている。
- ・当議会では、議員報酬以外に費用弁償や政務調査費はない。
- ・地方議会において、議員のなり手不足が問題化している。その要因の一つとして、報酬の低さもあるのでは。



全員賛成で可決

審議会から議会に意見

- ・町政課題に対し調査・研究を重ね、これまで以上に政策提言を
- ・町民の声を聞く機会を増やし、町民と共に地域課題の取り組みを
- ・地域内外に対する情報発信を行い、地域の発展に努めて欲しい

議会を傍聴してみませんか

9月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。9月定例会は、本会議と補正予算・決算審査特別委員会が議場で行われます。一度傍聴してみませんか？

9月定例議会の予定

- 9月10日(火) 本会議・一般質問
- 9月11日(水) 一般質問
- 9月12日(木) 常任委員会
- 9月13日(金) 補正予算特別委員会・決算上程
- 9月17日(火) 常任委員会
- 9月18日(水) 常任委員会
- 9月20日(金) 決算審査特別委員会
- 9月24日(火) 決算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真

バトンでつなぐ 佳良パワー

地区によって競技種目は違えど、リレーは運動会で最も盛り上がる。選手の表情が何より物語っている。遊佐地区ではリレーの他に百足競争や53次籠かつぎ(写真)が花をそえる。あすの筋肉痛を恐れず、選手の奮闘や声援が青空に響いた。



議会クイズ



令和元年5月1日第144号の議会クイズには62名の方の応募があり、60名の方が正解でした。

100回記念クイズ抽選の結果次の20名の方が当選し、あぼん入浴券(3枚)をお届けします。

答え ①C ②C ③B (敬称略)

- 遠田 すみ子 (大谷地)
- 石垣 晴男 (湯ノ田)
- 石垣 陽子 (服部)
- 伊藤 恵美子 (杉沢南)
- 伊藤 弘也 (六日町)
- 真垣 ハツ代 (六日町)
- 真中 礼子 (横町一)
- 島中 洋子 (上蔵岡)
- 伊藤 ヒサコ (杉沢南)
- 曾根 節基 (菅野上)
- 伊藤 節子 (比下モ山)
- 藤原 まゆみ (白木)
- 佐藤 誠子 (下当下)
- 小西 良三 (布倉)
- 小野 妙子 (十日町)
- 小野 京子 (八日町)
- 池田 ひとみ (旭ヶ丘)
- 寺田 ゆう子 (酒田市)
- 真嶋 寿思 (大谷地)
- 三浦 頼子 (谷地下)

- 問題
- ①町で除雪機械を何台保有しているか？
 - A 8台
 - B 18台
 - C 38台
 - ②町の老人クラブ結成数は？
 - A 56団体
 - B 76団体
 - C 96団体
 - ③ドイッ発祥の気候療法は？
 - A クアオルト
 - B バームクーヘン
 - C フランクフルト
- 応募方法
 ハガキに答えの記号(例①A ②B ③C)それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。(正解者の中から10名にあぼん入浴券(3枚)をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません)
- ☆ ハガキの余白に答えのほかに議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。
- ☆ あて先/999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 役場内 議会事務局 締め切り7月25日 発表は次号です。

編集室より

7月1日、「出羽國一宮」大物忌神社吹浦口之宮で、鳥海登山の安全を祈願する山開き神事が行われている。

7月12日には、西浜で海開きも予定されている。

遊佐の海・山・自然を満喫してほしい。

議会クイズの投稿から新コーナー誕生の予感。その中から。

「読者の声」

○町税のコンビニ納付可能になってほしい。

答 令和2年4月から運用されるようですよ。

発行人

議長 土門 治明

議会広報担任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 齋藤 武
- 委員 齋藤 弥志夫
- 委員 斎藤 智則
- 委員 佐藤 英一
- 委員 赤塚 裕美
- 委員 松永 裕美